

②福音再考シリーズ - ヨハネの福音書

イントロダクション | 復活のいのち

死に直面するとき私たちに何か希望と言えるようなものがあるのでしょうか？神を信じ、キリストに自分の人生を委ねるクリスチャンには、どのような希望があるのかを見て行きましょう。今日の聖書は、第1にイエスが復活のいのちを持つ方であり、私たちにとって究極的な希望であることを示しています。第2に、イエスこそが私たちを慰めてくださる救い主として、死に立ち向かってくださる方（死の解決者）です。そして3番目に、イエスご自身が死を通して復活された栄光の主であることにフォーカスしましょう。

聖書 | ヨハネ福音書 11章 17~44節

11:17 それで、イエスがおいでになってみると、ラザロは墓の中に入れて四日もたっていた。 18 ベタニヤはエルサレムに近く、三キロメートルほど離れた所にあった。 19 大ぜいのユダヤ人がマルタとマリヤのところに来ていた。その兄弟のことに慰めるためであった。 20 マルタは、イエスが来られたと聞いて迎えに行った。マリヤは家ですわっていた。 21 マルタはイエスに向かって言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。 22 今でも私は知っております。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。」 23 イエスは彼女に言われた。「あなたの兄弟はよみがえります。」 24 マルタはイエスに言った。「私は、終わりの日のよみがえりの時に、彼がよみがえることを知っております。」 25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。 26 また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。」 27 彼女はイエスに言った。「はい。主よ。私は、あなたが世に來られる神の子キリストである、と信じております。」 28 こう言ってから、帰って行って、姉妹マリヤを呼び、「先生が見えています。あなたを呼んでおられます」とそっと言った。 29 マリヤはそれを聞くと、すぐ立ち上がって、イエスのところに行った。 30 さてイエスは、まだ村に入らないで、マルタが出迎えた場所におられた。 31 マリヤとともに家において、彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリヤが急いで立ち上がって出て行くのを見て、マリヤが墓に泣きに行くのだろうと思い、彼女について行った。 32 マリヤは、イエスのおられた所に来て、お目にかかると、その足もとにひれ伏して言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」 33 そこでイエスは、彼女が泣き、彼女といっしょに來たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になると、霊の憤りを覚え、心の動揺を感じて、 34 言われた。「彼をどこに置きましたか。」彼らはイエスに言った。「主よ。来てご覧ください。」 35 イエスは涙を流された。 36 そこで、ユダヤ人たちは言った。「ご覧なさい。主はどんなに彼を愛しておられたことか。」 37 しかし、「盲人の目をあけたこの方が、あの人を死なせないでおくことはできなかったのか」と言う者もいた。 38 そこでイエスは、またも心のうちに憤りを覚えながら、墓に來られた。墓はほら穴であって、石がそこに立てかけてあった。 39 イエスは言われた。「その石を取りのけなさい。」死んだ人の姉妹マルタは言った。「主よ。もう臭くなっておりましよう。四日になりますから。」 40 イエスは彼女に言われた。「もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見る、とわたしは言ったではありませんか。」 41 そこで、彼らは石を取りのけた。イエスは目を上げて、言われた。「父よ。わたしの願いを聞いてくださったことを感謝いたします。 42 わたしは、あなたがいつもわたしの願いを聞いてくださることを知っておりました。しかしわたしは、回りにいる群衆のために、この人々が、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じるようになるために、こう申したのです。」 43 そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て來なさい。」 44 すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたままで出て來た。彼の顔は布切れで包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどこいてやって、帰らせなさい。」

考えましょう |

- 1: (21, 32 節) マルタとマリヤは、イエスがラザロの存命中に來てくれなかつたことについて、どのように言っていますか？それは、私たちが悲しみや失望に出会うときにどのように反応することに似ていますか？
- 2: (23, 25-26 節) イエスは失望を告げるマルタに対してどのように将来の希望を指し示していますか？それは私たちにどんな希望があることを示していますか？
- 3: (33-38 節) イエスはラザロの死に対してどのような反応をしていますか？ここからイエスがどのような方であり、それを知ることは私たちにどんな慰めを与えてくれると思いますか？

- 4: イエスはラザロの墓に向かう時に憤りを覚えています。それはなぜだと思いますか？私たちは死をどのように考えるべきですか？（参考 ローマ 6:23）
- 5: イエスがラザロを生き返らせたことは、イエスがどのような方であるのか、また、私たちが得ることのできる希望について教えてください。イエスはどんな方ですか？また、イエスは私たちにどんな希望を与えてくれますか？（参考 黙示録 21:1-4）
- 6: イエスが与える希望は、どのようにして私たちのものになりますか？

読みましょう |

ローマ書 6 章 23 節

6:23 罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

ヨハネ黙示録 21 章 1-4 節

21:1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。3 そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」

祈りましょう |

- ・イエスは私たちに復活のいのちをもたらしてくださいました。死を超えて希望を持つことのできる恵みを感謝して神をほめたたえましょう。
- ・私たちはイエスがともにいて生きていることを忘れやすく、「もしあの時こうであったら…」 「もしこんなことが起こらなかつたら…」と過去のことに捕らわれて、悲しみや失望に陥りやすいものです。イエスに対する不信仰を悔い改めて、イエスに期待しましょう。

今週～来週のイベント

ランチタイムミーティング（丸の内 22、大手町 23）、礼拝シンポジウム（26）